

富士電子工業株式会社

会社概要

富士電子工業株式会社は、1960年の創業以来、IHを利用したいわゆる高周波焼入の受託加工と、同じくIHを利用した様々な熱処理設備づくりという2つの事業を行っております。

そのいずれにおいても、熱処理技術分野に於ける課題を克服すべく、顧客の要望を取り入れながらも、独自の半開放コイルを利用した確実な方法を提案し、設計から最終の試運転までを手がけて参りました。

特に、焼入後のワークはひずむものであるという従来の考えを払拭し、不安定に見える膨張変態後のワークであっても、いつも同じ寸法・同じ精度に仕上げる再現性を目指すことによって、顧客の製品作りに於ける前後工程の削減に寄与できる「精密硬化」に拘り、設備作りを行っています。

高周波焼入装置は、国内だけでなく、アメリカ、ヨーロッパ、アジアと世界20カ国以上に輸出しています。

主要商品紹介

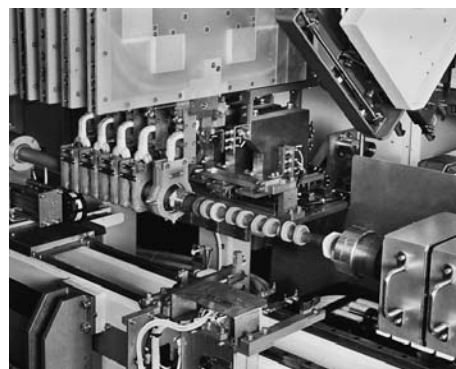
高周波焼入の使用用途はかなり広く、自動車、建設機械、工作機械、農業機械、船舶などの鉄鋼部品で耐摩耗性や疲労強度などを要求される多くの部品に採用されています。

特にクランクシャフトの高周波焼入は、国内メーカー向け設備の約80%のシェアを持ち、それ以外にも、自動車部品のカムシャフトやCVJ、工作機械や産業機械に使用されているボールねじやリニアシステム、建設機械のイドラローラー、といった複雑な形



〈A-kwH スルータイプ クランク焼入機〉

36秒に1本を処理することが可能、高強度、低歪を実現した高生産設備。



〈カムシャフト焼入装置〉

独自の偏芯焼入技術を使用し、高品質を実現。240本/時処理することが可能な高生産設備。

状でありながら、高い強度や精密さを要求される部品の熱処理に於ける、様々な顧客要求に応えられる提案力を持っています。

一言 PR

IHを利用した高周波焼入は、熱処理の中でも化石燃料を一切使わないとてもクリーンな熱処理方法です。

その中でも、昨今の電力事情を鑑み、変換効率95%という高効率でありながら、1台で複数周波数が同時発振できる業界初のインパクトを使っています。

一方で「半開放コイル」と呼ばれる半円と軸方向の直線を組み合わせたコイルを更に進化させながら、従来の高周波焼入ではできないと思われていた常識を覆し続け、顧客の競争力の下支えができる技術を構築することを目指します。

それには、高周波焼入分野だけでも200件近い特許権など知的財産権(2012年3月末現在)を有するといった、独自研究開発体制が活かれています。

連絡先

富士電子工業株式会社

本社 〒581-0092 大阪府八尾市老原6-71

TEL: 072-991-1361 FAX: 072-991-1309

東京営業所 〒105-0013 港区浜松町1-12-14-3F

TEL: 03-5472-1361 FAX: 052-5472-1362

名古屋営業所 〒460-0022 名古屋市中区金山1-9-17-7F

TEL: 052-322-1361 FAX: 052-322-1362

URL: <http://www.fujidenshi.co.jp>